



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 河川事業】

事業名	安全な川づくり事業
事業箇所	一級河川 田川 L = 8,300m 宇都宮市 ^{いしなだ} 石那田地先～ 日光市 ^{きわだしま} 木和田島地先
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 河川課

I 事業の概要

【目的】

一級河川田川は、日光市七里地先に源を発し、宇都宮市街地を流下し、上三川町、下野市、小山市を経て、茨城県結城市で鬼怒川に合流する河川である。

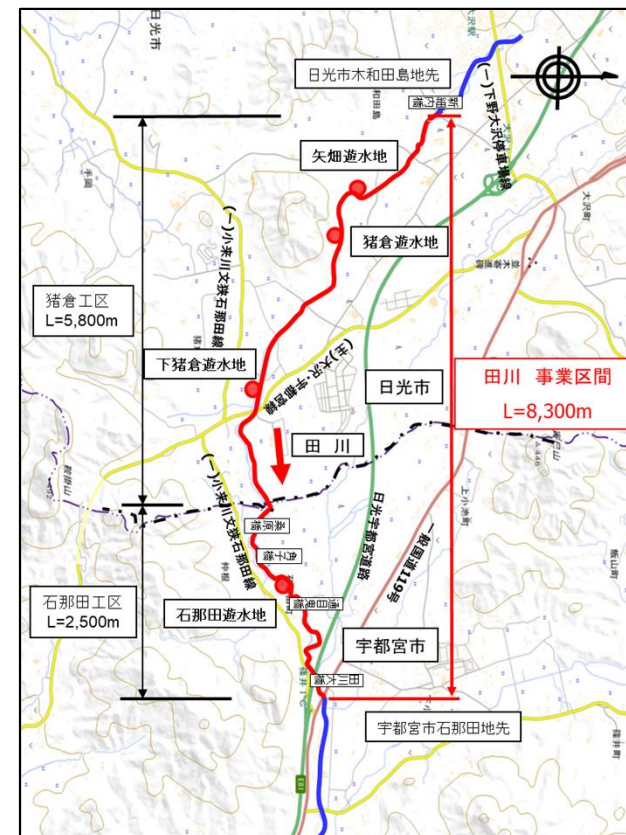
計画区間は、屈曲が著しく、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。

本事業では、河川断面の拡大及び遊水地群の整備を行い、浸水被害の軽減を図るものである。

【現況】

目標事業期間 (変更前)	平成14年度～令和13年度 (平成14年度～令和8年度)		
事業経過	平成14年度	事業化	
	平成15年度	用地着手	
	令和8年度	事業再評価 (今回)	
全体事業費 [うち用地補償費]	26.8 (25.0) 億円 [4.4 (4.4) 億円] ※ () は前回計画時		
事業延長 [うち整備済延長]	L = 8,300m [L = 1,900m] ※5,800mは暫定整備済み		
進捗率	基準年次：【令和8年度末時点】		
	既投事業費	費用	進捗率
	[うち用地補償費	22.6億円	84%
		2.4億円	55%

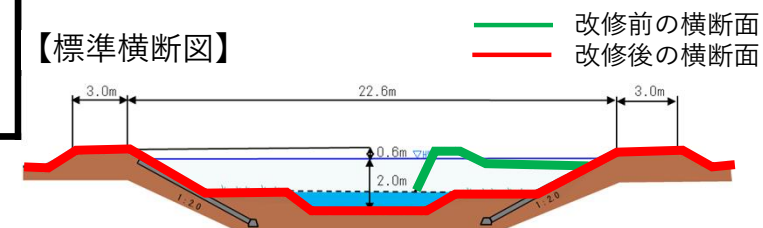
【事業概要図】



出水状況
(令和元年東日本台風)

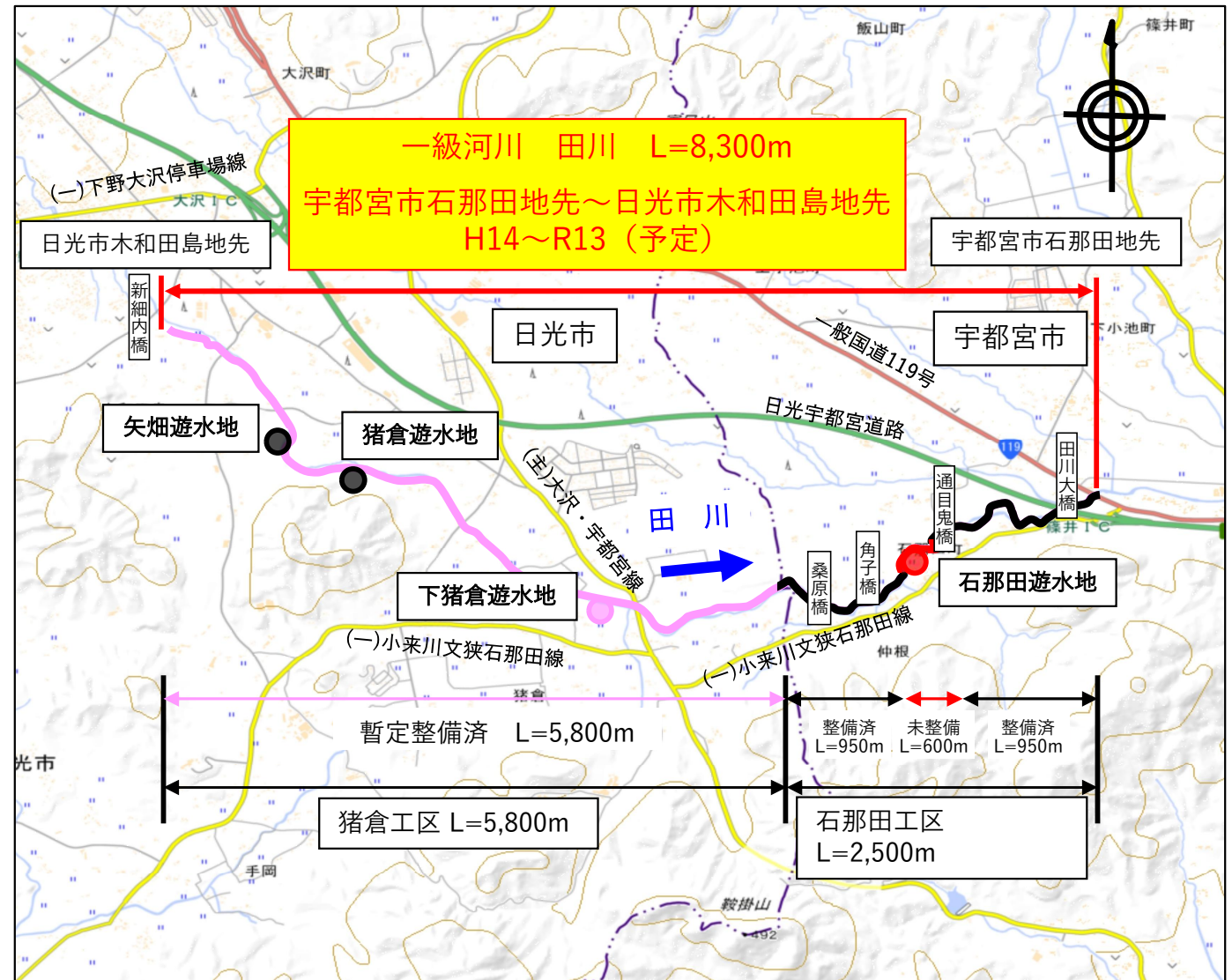
- 計画規模：1/3確率
- 計画流量：55、85m³/s
- 河床勾配：1/100~1/300

【標準横断面図】



I 事業の概要

【箇所概要】



凡 例

事業箇所	——
整備済箇所	——
暫定整備済箇所	——

II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

- ・事業期間の見直し
令和8年度 ⇒ 令和13年度
- ・総事業費の見直し
25.0億円 ⇒ 26.8億円

【全体事業費の見直し】

前回計画
(R3年度)

今回計画

	事業費	25.0億円	⇒	26.8億円 (+ 1.8億円)
内	工事費	20.6億円	⇒	22.4億円 (+ 1.8億円)
訳	用地補償費	4.4億円	⇒	4.4億円 (+ 0.0億円)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	5.0	238.4億円	47.5億円
(2)残事業	7.6	32.8億円	4.3億円

2 事業の整備効果等

- ・計画規模1／3の降雨で想定される宅地や道路、農地の浸水被害が解消される。
- ・河川断面の拡大による河岸・水際部の整備にあたっては、現況の瀬や淵を極力保全するとともに、水際部に植生が繁茂できるように配慮し、生物の生息・生育・繁殖環境を保全する。

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和8年度末時点

1 事業の進捗状況

全体事業進捗率	84%
用地	55%
工事	90%

2 今後の事業進捗の見込み

- ・用地取得、工事を推進し、令和13年度を目標に事業完了を図る。

上田橋（河道改修・橋梁架け替え）

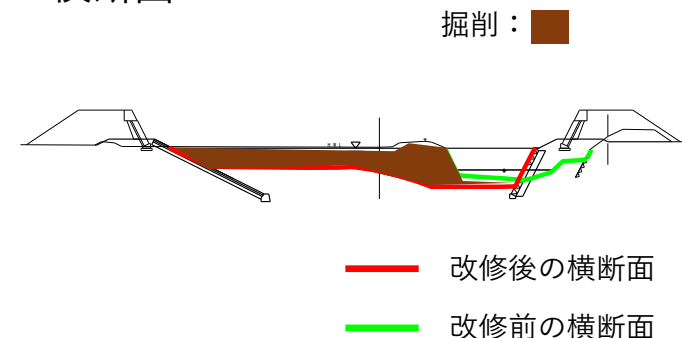
整備前



整備後



横断面図



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- ・建設発生土については、工事間流用により、工事費の縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- ・連携する沿川の圃場整備事業が完了していること、計画区間より下流の宇都宮市街地において、川幅を広げることが困難であることから、河川断面の拡大と併せて遊水地群の整備を行う本計画が最適である。

【事業の対応方針（案）】

- ・本計画で事業を継続する。